

早稲田大学高等研究所「人新世と人文学」セミナーシリーズ（第12回）

「日本の古典和歌における歌枕・名所の変貌」



本セミナーシリーズでは、1990年代以降文学・芸術研究において蓄積された ecocriticism の成果を手掛かりにしつつ、「人新世」に関する対話のフレームを構築することを目指します。美術史、文学、哲学、美学、音楽、建築学、考古学、認知神経学、環境経済学、環境農学と多岐にわたるトピックを取り上げ、真に領域横断的な研究・議論の前提を獲得することを目的としています。第12回講座では、日本古典文学を専門とするフィットレル・アーロン氏をお招きし、和歌文学における地名の詠まれ方について、地形の変貌と和歌を詠む人間による地名の捉え方の変遷について、文化的・社会的背景も含めて講じていただきます。

◆ 日時：2024年8月3日（土）10:00～11:45

◆ 講演者：フィットレル・アーロン（早稲田大学高等研究所・招聘研究員）

◆ 場所（対面開催・早稲田大学戸山キャンパス 33号館 16階第10会議室）

◆ プログラム

10:00～10:05 開会挨拶

10:05～11:05 講演「日本の古典和歌における歌枕・名所の変貌」（フィットレル・アーロン）

11:05～11:15 休憩

11:15～11:45 質疑応答・討議 *総合司会：山本聡美（早稲田大学文学学術院 教授）

主催：早稲田大学高等研究所／共催：早稲田大学総合人文科学研究所（角田柳作記念国際日本学研究所）